

世界史 B

1 次の文章を読み、下の設問に答えよ。

後漢では、2世紀に入る前後から外戚や宦官が力を持つようになり、中央の政治が乱れた。そのため治水や灌漑の事業がとどこおって農耕地が荒廃し、飢饉があいついだ。^(a)こうしたなか、張角が組織した(1)や、張陵が蜀で創始して、のちの道教の源流ともなった五斗米道などの宗教結社がつくられ、とくに華北一帯に信徒を広げた。(1)は、困窮した農民を集めて武装化し、大規模な反乱をおこした。乱は鎮圧されたが、高官や豪族たちは私兵を蓄えて自立し、全国は群雄割拠の状態になった。^(b)

こうした状況の中から、華北の(2)、江南の(3)、四川の(4)の3名が台頭した。(2)の子である曹丕が、後漢から政権を奪って魏王朝をたてると、(3)と(4)はそれぞれ呉と蜀をたて、中国は三分された。^(c)魏は、屯田制を実施して農業生産の回復につとめ、また有能な人材を集めるために(5)法を制定した。魏は華北全域を支配したのちに蜀を併合したが、実権は臣下へとうつり、265年に(6)が魏にかわって晋(西晋)をたてた。晋は280年に呉も滅ぼして中国を統一し、自作農に土地を確保させる制度を始めて生産の回復をはかった。しかし、内紛と内乱によって支配体制はゆるみ、五胡が本格的に華北に移住し、316年に晋は滅亡した。^(d)

問1 文中の空欄(1)～(6)にあてはまる人名または語句を答えよ。

問2 下線部(a)に関連して、宦官が166年と169年に官僚を弾圧した事件を何と呼ぶか、答えよ。

問3 下線部(b)に関連して、この反乱は、信者たちが身につけた頭巾にちなみ、何と呼ばれたか、答えよ。

問4 下線部(c)に関連して、魏の都がおかれた場所を、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア. 成都 イ. 建業 ウ. 平城 エ. 洛陽

問5 下線部(d)に関連して、五胡に含まれない民族を、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア. 羌 イ. 烏孫 ウ. 鮮卑 エ. 羯

2

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

火薬の燃焼力を用いて筒状の砲身から砲弾を高速で発射する大砲は、13世紀に南宋で発明された実火槍と呼ばれる木製の砲が最初のもと考えられている。製造年代が確実な最初の大砲は1332年製で、当時の大砲は鋳鉄あるいは鋳青銅で作られ石や鉄の砲弾を発射した。^(a)

大砲はその後中央アジアを経由して西ヨーロッパに伝わった。イングランド軍は、1346年8月のクレシーの戦いで大砲を用い、その轟音はフランス軍重騎兵部隊の突撃阻止に少なからず貢献した。イングランド軍は同年9月の(1) 包囲戦でも大砲を用いて勝利し、以後1558年まで(1) を保有し続けた。

対するフランス軍は、1429年2月、イングランド軍による(2) 包囲戦中に発生したニシンの戦いにてイングランド軍陣地を砲撃し、バリケードに用いられていた罎(ニシン)樽を粉碎し戦場を罎まみれにしたが、突撃した友軍への誤射を避け砲撃を中止した隙を衝かれて敗北、(2) は陥落目前となった。同年5月、フランス軍は(2) を包囲するイングランド軍小要塞を各個撃破して解囲に成功、同年6月、大砲を活用してロワール溪谷のイングランド軍城砦を次々と陥落させた。1453年のカスティヨンの戦いでは、フランス軍は多数の大砲の砲撃でイングランド軍の突撃を阻止し勝利した。^(c)^(d)

同時期、東ヨーロッパでも大砲が活用された。1453年、オスマン帝国軍は、ビザンツ帝国の首都(3) を包囲した際にウルバン砲と呼ばれる全長8mの巨大な攻城砲を用いた。その砲の絶大な威力は城壁破壊に貢献し、(3) は陥落してオスマン帝国の首都となった。(3) は現在もトルコの都市(4) として繁栄している。

フランスは大砲の改良を進め、1494年の第1次イタリア戦争では、砲車(車輪付き砲架)に載せた大砲を駆使して攻城戦を有利に進めたが周辺国に包囲され敗北した。イタリア人はフランス軍を撃退したものの、フランス軍の砲撃に従来の垂直で高い城壁は有効でなかったため、星形要塞あるいはイタリア式築城術と呼ばれる築城方式を考案した。具体的には、砲弾の衝撃を吸収すべく、城壁に土と煉瓦を用い、形状を低く分厚くした。城の構造も、稜堡(三角形の突端)を多数設置して各稜堡が援護射撃できるようにし、さらに塹壕を張り巡らせた防御線を幾重にも構築した。この築城方式は有効で、第1次イタリア戦争にて(5) 共和国の支配を脱したピサを、フランスと(5) 共和国軍が攻囲した1500年のピサ戦役では、両軍はピサの二重防御線を攻略しきれず撤退した。オスマン帝国がマルタ島を攻撃した1565年のマルタ包囲戦では、オスマン帝国軍は猛烈な砲撃戦を展開したが、島内の星形要塞群の攻略に手間取り甚大な被害を出して撤退した。もともと、技術進歩を続ける攻城砲は依然として城側の最大の脅威であった。

大砲の技術進歩は砲身の軽量化や砲車の機動力向上にも及び、野戦でも重要な役割を果たすようになった。1618年の(6) での新教派抑圧に対する反乱を契機に勃発した三十年戦争で、スウェーデン軍は砲・歩・騎兵が連携するスウェーデン式三兵戦術によって旧教派に対し優勢に戦った。この戦術は、軽量の野戦砲多数を揃えた砲兵の砲撃のもとに銃兵が進出して敵部隊を弱体化させ、最後に騎兵が突撃するというもので、後に砲兵士官出身のナポレオンによって改良され、近代の軍隊の編制と戦術の基礎になった。^(g)

- 問1 文中の空欄（ 1 ）～（ 6 ）に適切な地名を入れよ。
- 問2 下線部(a)に関連して、当時の中国の王朝は（ A ）であったが、中央政府内の権力争いで混乱し求心力が低下、さらに続く伝染病の流行により農民反乱が頻発し、この際に大砲が盛んに用いられた。（ A ）を倒した（ B ）も大砲への関心が高く、初期は大砲や銃を盛んに製造したが、平和の到来とともに技術進歩が止まり西洋に後れを取るようになった。空欄（ A ）（ B ）に適切な王朝名を答えよ。
- 問3 下線部(b)に関連して、この戦いのフランス軍指揮官は（ C ）朝の創始者フィリップ6世であったが、フランス軍の貴族、騎士多数が戦死しフィリップ6世も負傷した。空欄（ C ）に適切な王家の名を答えよ。
- 問4 下線部(c)に関連して、それまでのフランス軍は連戦連敗で消極策に終始していたが、新たに指揮官として加わった（ D ）は積極攻勢を主張、その作戦が成功し「（ 2 ）の乙女」と呼ばれ称揚された。空欄（ D ）に適切な人名を答えよ。
- 問5 下線部(d)に関連して、この戦いの敗報を受けたイングランド国王ヘンリ6世は精神錯乱を起こして統治不能に陥り、ヨーク公リチャードが護国卿に任命されて後見したが、ヘンリ6世が回復すると失脚、反逆罪に問われたヨーク派が反乱を起こして（ E ）戦争が勃発した。空欄（ E ）に適切な語句を2文字で答えよ。
- 問6 下線部(e)に関連して、この戦いでは（ F ）が（ 5 ）共和国軍顧問の副官としてフランス軍との交渉に当たったが協調に失敗、自国の常備軍の必要性を痛感し『君主論』『戦術論』などの著作で訴えた。空欄（ F ）に適切な人名を答えよ。
- 問7 下線部(f)に関連して、当時のオスマン帝国スルタン、スレイマン1世は盛んに対外遠征を行いヨーロッパに進出した。1529年の第1次（ G ）では撤退したもののハンガリー領の大部分を獲得、1538年の（ H ）ではキリスト教勢力の連合艦隊を破って地中海ほぼ全域の制海権を握った。しかしマルタ包囲戦で敗北、1566年のスィゲトヴァール包囲戦ではハンガリーに勝利したものの被害甚大でスレイマン1世も陣没した。空欄（ G ）（ H ）に適切な戦いの名称を答えよ。
- 問8 下線部(g)に関連して、当時のスウェーデン国王（ I ）は砲兵を効果的に運用し勝利を重ねたが、1632年のリュッツェンの戦いで勝利はしたものの戦死し、その結果、スウェーデンは三十年戦争の主導権を失った。空欄（ I ）に適切な人名を答えよ。

3 次の文章を読み、下の設問に答えよ。

1814年から1815年にかけて、フランス革命とナポレオン戦争による混乱の收拾のために、ヨーロッパ諸国の代表がウィーンに集結した。このウィーン会議^(a)では、オーストリア外相（ 1 ）が議長をつとめ、新たな秩序の形成が目指された。会議の結果、フランス外相（ 2 ）の主張した正統主義にもとづき、フランスやスペインで（ 3 ）朝が復活した。オーストリアは北イタリアを獲得し、ドイツでは35の君主国と4自由市からなる（ 4 ）が形成された。またイギリスは、旧オランダ領の領有を認められた。^(b)この会議で認められた国際秩序をウィーン体制という。

しかし、ウィーン体制成立後も、自由主義的改革を求める動きはとまらなかった。ドイツでは、憲法制定と国家統一を目指す学生による運動がおき、スペインでは立憲革命が、イタリアでは秘密結社（ 5 ）の反乱がおきた。ロシアでは、ニコライ1世の即位に際して、貴族の士官らが改革を求めて（ 6 ）の反乱をおこした。

フランスでは、ルイ18世の次に即位した（ 7 ）が、反動的な政治をおこなっていた。1830年に、国王は国民の不满をそらすために、オスマン帝国下の領域に出兵した。^(c)また国内では、議会を解散させ、選挙権の制限強化や言論の統制などをうちだした。1830年7月これに抗議してパリでは革命がおき、国王は亡命して、オルレアン家の（ 8 ）が王として迎えられ、七月王政が成立した。この七月革命の影響はヨーロッパ各地に広がった。^(d)

七月王政下のフランスでは、再び選挙権拡大を求める運動がおき、1848年2月、二月革命がおきた。国王は亡命し、共和政の臨時政府^(e)が樹立された。二月革命は、オーストリアやドイツなどに波及した。ドイツでは、ドイツの統一と憲法制定の討議のために、ドイツ諸邦から代表が集まり、（ 9 ）国民議会が開催された。また、ヨーロッパの各地で民族運動が高揚し、この状況は「1848年革命」という総称とは別に、「（ 10 ）」と呼ばれる。

問1 文中の空欄（ 1 ）～（ 10 ）に当てはまる人名または語句を答えよ。

問2 下線部(a)に関連して、この会議の結果、永世中立国となった国の名前を答えよ。

問3 下線部(b)に関連して、イギリスがこの時に領有を認められた旧オランダ領を、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア. ロンバルディア イ. ケープ植民地 ウ. ベッサラビア エ. モロッコ

問4 下線部(c)に関連して、この時の出兵は、20世紀後半まで続くこの領域のフランスによる植民地化の出発点となった。この領域とはどこか、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア. アルジェリア イ. エジプト ウ. ベトナム エ. モザンビーク

世

問5 下線部(d)に関連して、オランダから独立し、1831年に立憲王国となった国の名前を答えよ。

問6 下線部(e)に関連して、この臨時政府に加わり、国立作業場の設置などの改革を推進したが、1848年4月の選挙で落選した社会主義者は誰か、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア. サン=シモン イ. フーリエ ウ. ルイ=ブラン エ. エンゲルス

4

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

東南アジアのシャム（現在のタイ）地域では、13世紀にタイ人の国家が多数形成された。中でもスコータイ朝は、スリランカから伝わったとされる（ 1 ）教の寺院や塔を多数残している。シャム湾北岸の都市国家として1351年ごろに建国された（ 2 ）朝は、マラッカ海峡への進出をはかるいっぽう、クメール王国を（a）圧迫し、スコータイ朝など北方の諸国を征服した。（ 2 ）朝は、内陸部の森林産物や豊富に産する米などを輸出して、港市国家として強大になり、最盛期の17世紀には、日本から西ヨーロッパにまで及ぶ諸国と外交・交易関係をもった。（ 2 ）朝が18世紀後半にビルマの（ 3 ）朝によって滅ぼされると、かわって、現在に続く（ 4 ）朝が成立した。（ 4 ）朝はバンコクを都とし、カンボジア・ラオス・マレー諸国に対する宗主権を確立した。（ 4 ）朝は19世紀末、西洋諸国に対する自由貿易・開放政策に転じるなど近代化に向かいはじめ、第5代王の（ 5 ）は、行政・司法・軍事の西欧化など、中央集権的な近代国家の確立につとめた。また、この当時、ベトナムから西進する（ A ）と、ビルマから東進する（ B ）との緩衝地帯という、有利な国際環境を利用して、東南アジアで唯一独立を維持した。シャムは、1932年にクーデタによって立憲君主国となり、1939年に国号をタイに変更した。タイは、第2次世界大戦では（ C ）の同盟国となったが、終戦直後に宣戦布告の無効を宣言し、敗戦国となるのを免れた。戦後はしばしばクーデタがおこり、政治は不安定だったが、（d）経済は1960年以降、比較的順調に成長した。

問1 文中の空欄（ 1 ）～（ 5 ）にあてはまる人名または語句を答えよ。

問2 文中の空欄（ A ）～（ C ）に入る国名の組み合わせで、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. A=オランダ B=フランス C=日本 イ. A=フランス B=イギリス C=日本
ウ. A=イギリス B=フランス C=ドイツ エ. A=オランダ B=イギリス C=ドイツ

問3 下線部(a)に関連して、1511年にマラッカ王国をほろぼしてマラッカを支配した国はどこか、答えよ。

問4 下線部(b)に関連して、12世紀にスールヤヴァルマン2世が建立した寺院の名前を答えよ。

問5 下線部(c)に関連して、17世紀に入ると、オランダとフランスがシャムと直接交易を行うようになった。オランダで1602年に作られ、東南アジアでの貿易活動を担った会社の名前を答えよ。

問6 下線部(d)に関連して、タイを含む東南アジア5ヶ国が1967年に設立した地域協力機構の略称を、アルファベット5文字で答えよ。